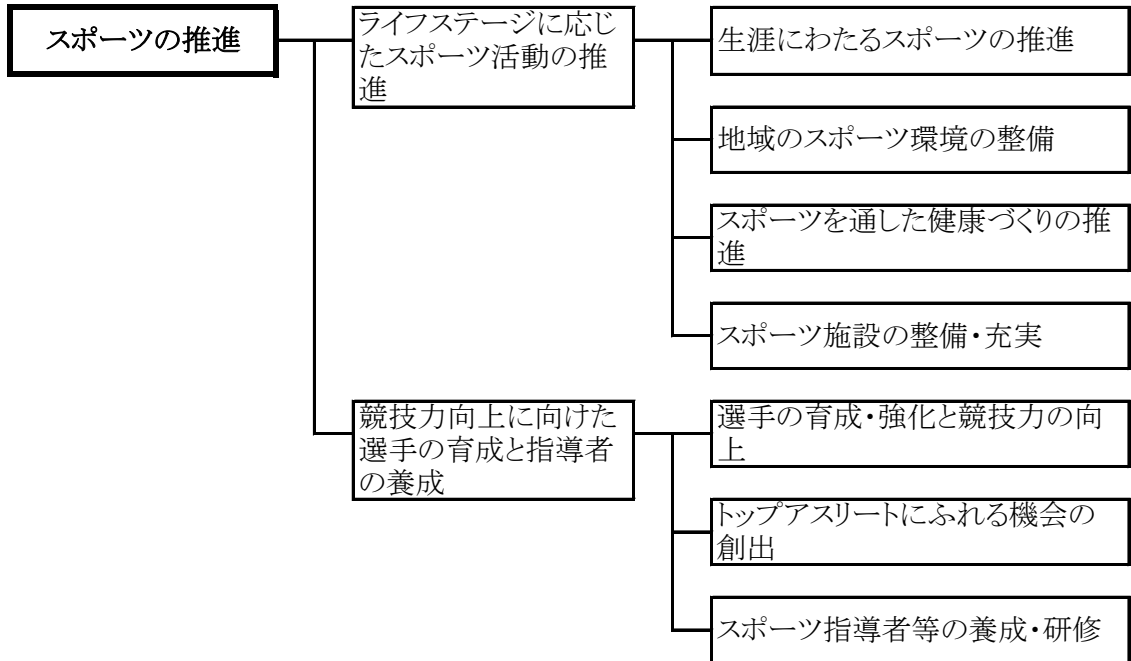


5 スポーツの推進

■体系



(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

① 生涯にわたるスポーツの推進

【現状と課題】

ニュースポーツ等の普及により、スポーツに親しむ環境は整備されていますが、「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がない」、「年をとったから」などの理由でスポーツに取り組んでいない人が少なくありません。

子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず各々の興味・関心・適性等に応じて、ニーズに合ったスポーツに日常的に親しむことができる機会や環境を整備し、スポーツへの参加を促すことが必要です。

【今後の方針と取組】

子どもから高齢者まで、さまざまなライフステージでスポーツを楽しむことができるよう、地域住民のニーズに応じたスポーツ活動の場の提供に努めます。

また、スポーツ未実施者やスポーツが苦手な人に対し、スポーツに参加するきっかけとなるよう、健康スポーツ教室やスポーツイベント等の開催に取り組みます。

【主な事業】

- ・ スポーツ・交流大会
- ・ スポーツイベント・フォーラム等の開催
- ・ 健康スポーツ教室・出前講座
- ・ スポーツ関連情報の提供



第1回 NINOHE ウォークラリー

② 地域のスポーツ環境の整備

【現状と課題】

地域のスポーツ環境を充実させるためには、学校、地域スポーツクラブ、企業等地域における様々な主体が、スポーツ推進に関連し保有する様々な資源を最大限活用しつつ連携して取り組む必要があります。

現在、市内には総合型地域スポーツクラブが2団体あり、地域のスポーツ推進に一定の成果を上げていますが、地域と種目が限られているため、育成・支援を継続する必要があります。

また、スポーツ推進委員については、「スポーツを支える（育てる）人」としての研さんは不可欠であり、各種の研修会への積極的な参加を進め、資質の向上を図る必要があります。

【今後の方針と取組】

二戸市体育協会をはじめ、スポーツ関係団体と連携し、スポーツ教室の充実やニュースポーツの紹介・普及を図るとともに、スポーツ推進委員の各種研修会への派遣を行います。

また、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を継続し、地域のスポーツ環境の整備に努めます。

【主な事業】

- ・ スポーツ推進委員の研修会参加
- ・ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

●数値目標

評価指標	現 状		数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度	
総合型地域スポーツクラブ数（団体）	2	2	3	
加入者数（人）	441	450	500	

③ スポーツを通じた健康づくりの推進

【現状と課題】

スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たすものであり、市民の健康な暮らしのため、スポーツの日常化を一層進めることが求められています。

このようなことから、関係機関等と連携し、日常生活の中で気軽に取り組むことのできる健康づくりのためのスポーツ活動を推進する必要があります。

【今後の方針と取組】

心身の健康を保持増進し、健康寿命を延ばしていくため、二戸市体育協会や関係機関との連絡を密にし、気軽に取り組むことができる健康・スポーツ教室等を開催し、日常生活の中でスポーツに取り組もうとする意識啓発に努めます。

【主な事業】

- ・ スポーツ指導者講習会の開催
- ・ 健康スポーツ教室・出前講座（再掲）



水中運動教室

④ スポーツ施設の整備・充実

【現状と課題】

誰もが安全に楽しくスポーツに親しめるよう、スポーツ施設の有効活用を図ることが求められています。

また、老朽化が進んでいるスポーツ施設は計画的に整備・改修することが必要です。特に、福岡字長嶺地区の既存のスポーツ施設については、今後の整備方針を決めることが課題となっています。

【今後の方針と取組】

多くの市民が、スポーツ施設を利用できるよう、スポーツ施設や学校体育施設の効果的・効率的な活用に努めます。

また、老朽化が進んでいるスポーツ施設は計画的に整備・改修を進めます。

福岡字長嶺地区の既存のスポーツ施設については、新規のスポーツ施設設置の要望と調整を図りながら、整備場所、規模、必要性を検討し、整備方針を策定します。

【主な事業】

- ・ 学校体育施設開放事業
- ・ スポーツ施設の計画的改修
- ・ スポーツ施設整備基本構想の策定

(2) 競技力向上に向けた選手の育成と指導者の養成

① 選手の育成・強化と競技力の向上

【現状と課題】

本市の競技スポーツについては、小学生から高校生、社会人に至るまで各種競技において様々な大会に出場し活躍していますが、県及び全国レベルに達している競技は限られています。

選手の育成・強化を図るためには、長期的な視点に立ちジュニア期から一貫した指導理念に基づいて指導することが必要であり、学校、スポーツ団体、スポーツ指導者、保護者等が連携し、学業とのバランスなどに配慮しながら選手を育成し、競技力向上につなげることが求められます。

【今後の方針と取組】

競技人口の増加と競技力の向上を図るため、学校部活動、地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等と連携し、長期的視点に立ったジュニア期からの選手の育成・強化に取り組むとともに、スポーツ団体等と連携しながらスポーツ指導者等の研修会を実施するなど、指導体制の確立に努めます。

【主な事業】

- ・ 各種スポーツ団体の育成・支援
- ・ 各種スポーツ教室の開催
- ・ 「二戸市小・中学生スポーツ活動指針」に係る調査の継続

② トップアスリートにふれる機会の創出

【現状と課題】

トップスポーツにより培われるアスリートの技術や経験、人間的な魅力は社会的な財産であり、直接指導を受ける機会を設けることは、新たなアスリートの発掘・育成につながり、スポーツのレベルアップに寄与するものと考えられます。

このような観点から、オリンピック選手やプロスポーツ選手などのトップアスリート等から直接指導を受ける機会を設け、選手の意識高揚を図るとともに、夢や希望を育む機会を創出することが望まれます。

【今後の方針と取組】

各種団体等と連携し、トップアスリートとしての経験を有する優れたスポーツ選手や指導者を活用したスポーツ教室等を開催し、選手の育成・強化、そして夢や希望を育む機会の創出に努めます。

【主な事業】

- ・ トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等の開催



日本カーリング選手権大会で活躍する苫米地美智子選手

③ スポーツ指導者等の養成・研修

【現状と課題】

スポーツ指導者については、スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者を中心に養成していますが指導者数は減少傾向にあります。こうしたことから、熱意と能力がある指導者を発掘し、資質向上のための研修等を充実させることが必要です。

さらに、地域スポーツクラブやスポーツ団体の指導者、スポーツ推進委員等が選手の育成や大会等の運営に積極的に参画できる環境を整えることが課題です。

【今後の方針と取組】

二戸市体育協会と連携し、スポーツ指導者等が専門能力を習得する機会として研修会等を開催し、指導者及び審判員等の養成を図り、スポーツに関する活動に参画できる環境づくりに努めます。

【主な事業】

- ・ スポーツ指導者研修会の開催
- ・ スポーツ推進委員の活動機会の拡充

●数値目標

評価指標	数値目標		
	現 状 平成 26 年度	28 年度	32 年度
市登録スポーツ指導者数(人)	145	150	160
日本体育協会公認資格取得者 数(人)	44	50	55
市スポーツ推進委員活動参加 延べ人数(人)	45	55	60